事業所職員向け

児童発達支援 YouⅡ 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で十分に確保され、適切ですか	○			利用定員に対対して、必要十分な数のスタッフを配置している。
	2	職員の配置数は適切ですか	○			全ての療育が個別での形式となっているため、1家庭に1スタッフを配置し、療育を行っている。配置数も行政の方針に沿ったスタッフ数である。
	3	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮がなされていますか	○			身障者用トイレは設置していないものの、車いイスでも施設内を移動できるよう、段差や階段は設置していない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さんたちの活動に合わせた空間となっていますか	○			日々の清掃に加えて、温度や湿度の管理を行うなどしながら、快適に活動できるよう心掛けている。また、感染症対策のため、玩具の消毒等を使用後に行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加していますか	○			事業計画の作成においては責任者が行っているが、全員で内容を確認するなどして、共通理解を図るよう努めている。
	6	保護者等向けアンケート実施により、保護者の意向を把握し、業務改善につなげていますか	○			本年度から児童発達支援事業を開始したため、アンケートは今年度から実施した。今後その結果を元に保護者の意向を職員間で周知し、業務改善に努めていく。
	7	事業所向け自己評価および保護者向けアンケートの結果を踏まえ、支援の質の評価および改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開していますか	○			児童発達支援ガイドラインに基づく事業所評価を行い、結果の分析を行った上で、結果をホームページにて掲載している。
	8	アンケート結果を業務改善につなげていますか	○			今後、アンケートの結果を踏まえて、保護者の意向を職員間で周知し、今後の業務改善に努めていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保していますか	○			コロナウイルス感染症蔓延の影響もあり、外部研修の機会が限られていたが、内部での研修の参加や職員各々がオンラインでの研修参加を行った。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや支援目標を適切に立て、児童発達支援計画を作成していますか	○			定期的にケース検討を行うなど、多面的な視点からアセスメントを行っている。また、保護者と面談を行い、子どもの状態や保護者のニーズに沿った計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握し、スタッフ間で共有していますか	○			スタッフ間でお子さんの状態や発達段階を共有するよう努めている。今後、共有するシステムをより緻密の構築していく。
	12	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」を示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されていますか	○			児童発達支援ガイドラインの示す内容と一致する項目に沿って、各項目ごとに舞台的な目標設定および支援内容の設定を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか	○			児童発達支援計画を随時確認し、必要な支援を行っている。
	14	活動プログラムを担当スタッフで共有していますか	○			療育に関わるスタッフが、支援内容やその目的を共有し、支援に臨んでいる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫していますか	○			実施している療育内容の特性上、活動プログラムは段階的に設定されており、プログラムが固定かしないように設定されている。
	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルに沿って、職員や保護者間で周知していますか		○		感染症対策に関するアウトラインは同法人が作成したものに従っている。保護者様からのご依頼があった場合には、いつでも参照できるよう準備している。今後はいつでも閲覧可能にするため、常設できるよう検討している。

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか	○			支援開始前に、療育に関わるスタッフが、実施する課題等に関して熟考し準備を行っている。今後は、スタッフ全体でも活動の目的等についても共有する必要がある。
	18	支援終了後または翌日には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか		○		終了後にお子様の様子をスタッフ間で共有するよう心掛けているが、今後は目標の達成度や療育の進捗状況などをより詳細に共有できるよう体制を整えていく。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、適切な支援・改善につなげていますか	○			日々の支援内容やお子様の様子について、各担当者が詳細に記録している。
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断していますか	○			実施している療育内容の性質上、実施した課題の達成度から目標設定を行う形式のため定期的に児童発達支援計画の見直しを行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況を把握した担当スタッフが参加し、情報共有していますか	○			同法人の児童外来や、発達支援センターとの共有は行なっており、今後担当者会議等が実施された際には、責任者に加えて各担当者も参加する予定である。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や、保育所・幼稚園・小学校など、関係機関と連携した支援を行っていますか	○			療育内容の特性上、母子同室で療育を行うため、支援の際に情報共有や相談等を受けている。
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、保健センター等の専門機関と連携し、研修会などに参加していますか		○		新型コロナウイルス感染症の関係で、研修会が開催されないこともあったが、オンラインでの開催の際は参加できるよう調整している。今後、積極的に参加する予定である。
	24	（自立支援）協議会子ども部会の研修会に参加していますか			○	児童発達支援事業を立ち上げて間もないため、参加経験はないが、今後は責任者を中心に参加する予定である。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	○			全ての療育が、母子同室で行われており、必要に応じて療育時間内で様子を伝えたり、相談業務を行っている。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、親の会で、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）への参加を促していますか			○	事業所独自で保護者支援プログラムの実施には至っていない。しかし、同法人の児童外来でペアレントトレーニング等を行っている。
保護者への説明責任等	27	契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか	○			契約時ご説明をさせていただいている。また、保護者様からお問い合わせがあった際には、再度お伝えしている。
	28	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ていますか	○			保護者面談を行い、児童発達支援計画の説明を行い、保護者様の同意を得ている。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	○			保護者様よりご相談があった際には、可能な限り直接お話ができるよう調整している。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応していますか	○			相談の申し入れがあった際には、できる限り迅速に対応させていただきます。必要に応じて、電話等も活用しながら相談体制を整えている。
	31	定期的に通信を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信していますか		○		療育の形態が全て個別のため、個人情報の観点や療育内容が全て異なるため、現在は、各ご家庭へ直接療育見学をしていただき、その場で相談対応等を行っている。今後、可能な範囲で通信等の発行を検討していきたい。
	32	個人情報に十分注意していますか	○			個人情報が特定できる書類は鍵付きのロッカーで保管している。部外者が館内にいるときは、個人情報に関するものはできる限り外し特定できないよう配慮している。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか	○			障がい特性に配慮し、言葉だけでなく図やイラスト等視覚支援を取り入れ、意思や情報伝達に配慮している。

非常時の対応	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか		○		児童発達支援事業を立ち上げて、間もないため、実施には至っていないが、今後児童の様子等を確認しながら、保護者様と共に実施していきたい。
	35	事前に、お子さんの健康状態を把握していますか	○			療育支援を行う前に、同法人の児童外来を受診していただいているため、健康状態を把握してから療育を個なっている。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	○			契約時保護者様への聞き取りを行い、アレルギーがある場合はおやつの内容を調整している。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか	○			職員間で共有、対応策を検討したうえでヒヤリハットを作成している。閲覧可能な場所に保管しており、その場所を全職員が把握している。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	○			責任者が虐待防止に関する研修へすでに参加しており、各々の職員も虐待に繋がる言動が行われていないか注意を払っている。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載していますか	○			病院内の研修において拘束をテーマにした研修を受けており、やむを得ず拘束が必要となるケースでは、個別支援計画書へ記載の上、保護者様の同意を得ている。

事業者向け　放課後等デイサービス YouII　自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・体制について	①	利用定員と指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか。	○			個別療育室が4室と集団療育室が1室あり、学習支援やSST、関わり活動など、幅広い活動を行うことができている。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			5人体制で療育を行うことで、職員の欠勤などの不測の事態にも対応することができた。療育を行うにあたって十分な配置数である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			活動範囲内に階段や段差を無くし、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務について	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参加しているか。	○			事業計画の作成においては責任者が行っているが、全員で内容を確認するなどして、共通理解を図るよう努めている。
	⑤	保護者アンケート等を実施して、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げているか。	○			昨年度も保護者アンケートを実施している。今年度の結果も含めて、保護者の意向を職員間で周知し、今後の業務改善に努めていく。
	⑥	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか。		○		コロナウイルス感染症蔓延の影響もあり、外部研修の機会が限られていたが、内部での研修の参加や職員各々がオンラインでの研修参加を行った。
適切な支援の提供	⑦	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか。	○			定期的にケース検討を行うなど、多面的な視点からアセスメントを行っている。また、保護者と面談を行い、子どもの状態や保護者のニーズに沿った計画書を作成している。
	⑧	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			標準化されたアセスメントツールを活用して、集団療育の効果検討を行っている。今後も療育内容との妥当性を検討し、より最適なアセスメントツールを検討していく。
	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			その日の活動内容を職員間で検討し、活動プログラムを立案している。
	⑩	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	○			感染症対策を行う関係上、活動内容は限定的になりやすかったが、新たな活動を職員間で考え、柔軟に実施した。
	⑪	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか。	○			子どもの発達に応じて学習やソーシャルスキル課題を検討し、個別支援計画を作成しながら必要な支援を行なっている。
	⑫	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			療育開始前にミーティングを実施し、支援内容や各スタッフの役割分担等を確認している。
	⑬	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援終了後は送迎業務や就業時間等で当日の振り返りは難しいが、翌日のミーティングで振り返りを行っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援記録を正しく録ることは徹底しており、個別支援計画書の作成や、今後の支援方針の改善につなげている。
	⑮	定期的に個別支援計画の評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			定期的にケース会議、個別支援計画の見直しを行っている。今後も定期的な個別支援計画の見直しを継続していく。
関係機関や保護者との連携	⑯	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか。	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員が担当し、情報共有に努めている。
	⑰	必要に応じて学校との連携を図り、適切な支援の提供に努めているか。	○			感染対策を十分に行った上で、学校と方法等を検討し、昨年度よりも数件実施件数を増やすことができた。
	⑱	子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○			日頃から併設している医療機関との連絡体制を整えている。必要に応じて情報提供を行ったり、密に情報共有をするなど、連携を図りながら支援を行っている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
関係機関や保護者との連携	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			研修会はコロナウイルス感染症蔓延の影響から開催が中止していたが、オンラインで実施されているものへ参加を検討している。
	⑳	相談支援事業所に子どもの様子等を伝え、他事業所と情報を共有しているか。	○			法人内だけでなく外部の相談支援事業所とも電話連絡や面談を適宜行い、情報共有を行っている。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			療育終了後は活動時の様子等を保護者にお伝えし、送迎車利用のご家庭は、必要性に応じて可能な限り、電話での情報共有を行ってきた。今後もお子さんの発達状況や課題について積極的な情報共有に努める。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			支援内容や利用者負担等については、契約時に説明を行っている。また利用料に関しては、請求書の明細に内訳が明記されている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			保護者からの相談には面談及び電話対応でできる限り対応しており、必要な助言と支援を行っている。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情には迅速かつ適切に対応していると思われるが、当事業所のみで判断できない場合は、医療とも連携しながら行っている。
	㉕	定期的にお便りを発行し、活動内容や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月お便りを発行し、活動内容や連絡事項等を発信しており、特にSSTは各学年の内容に合わせて説明している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか。	○			個人情報が特定できる書類は鍵付きのロッカーで保管している。部外者が館内にいるときは、個人情報に関するものはできる限り外し特定できないよう配慮している
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			障がい特性に配慮し、言葉だけでなく図やイラスト等視覚支援を取り入れ、意思や情報伝達に配慮している。また、保護者に対しても必要に応じて補足資料を使い、伝達を行っている。
非常時の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。		○		感染症対策に関するアウトラインは同法人が作成したものに従っている。保護者様からのご依頼があった場合には、いつでも参照できるよう準備している。今後はいつでも閲覧可能にするため、常設できるよう検討している。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		集団療育のお子さんを対象に行った。今後、個別療育のお子さんを対象に実施を検討し、職員の役割分担等を再度確認する必要がある。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			責任者が虐待防止に関する研修へすでに参加しており、各々の職員も虐待に繋がる言動が行われていないか注意を払っている。
非常時の対応	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に予め十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか。	○			病院内の研修において拘束をテーマにした研修を受けており、やむを得ず拘束が必要となるケースでは、個別支援計画書へ記載の上、保護者様の同意を得ている。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの聞き取りを十分に行っているか。	○			契約時に食物アレルギーの聞き取りを行い、おやつや調理実習の際に細心の注意を払っている。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			職員間で共有、対応策を検討したうえでヒヤリハットを作成している。全職員が閲覧可能な場所に保管しており、その場所を全職員が把握している。